

代表機関：東京大学

課題名 生成AIを活用した次世代栄養指導ツールの研究開発

分担機関：慶應義塾大学、株式会社日本予防医療開発研究所、プレパートナー株式会社

研究期間：令和7年5月～令和10年4月

研究目的・内容

- 生活習慣病の治療および重症化予防には、食事・栄養指導が不可欠であるが、現状では管理栄養士のリソース不足もあり、患者が栄養指導を受ける機会は極めて限られている。この問題は、治療が適切に行われないうまま生活習慣病が進行し、続発する心血管病の発症を助長する要因となる。
- この課題を解決するため、東京大学、慶應義塾大学、株式会社日本予防医療開発研究所（東京大学発スタートアップ）は、最先端の生成AI技術を活用した革新的な栄養指導ツール（匠2）の開発に取り組んでいる。

今後の展開

- 本研究の核となるのは、東京大学医学部附属病院で蓄積された膨大な栄養指導記録と診療ガイドラインを基に構築された大規模言語モデルである。このLLMを搭載したアプリ「匠2」は、管理栄養士が在籍しないクリニックでも個別最適化された栄養指導を可能とし、患者に継続的な食生活改善や行動変容の支援を提供する。
- 本研究開発事業では、東京大学における『匠2』の開発と、慶應義塾大学病院を中心とした臨床実験を通じて、次世代型の栄養指導ツールを社会に実装することを目指します。その受け皿として、株式会社日本予防医療開発研究所が中核的な役割を担い、研究成果を実際の医療・ヘルスケア現場への橋渡しを目指す。

クラス分類：PMDA相談中

次世代栄養指導ツールが 目指す未来像

